

平成28年1月28日

文学研究科 太田淳准教授の
「日本学術振興会賞」および「日本学士院学術奨励賞」
のダブル受賞について

広島大学大学院文学研究科 太田淳（おおた あつし）准教授が、「第12回日本学術振興会賞」と「日本学士院学術奨励賞」を受賞することが決定しました。

「日本学術振興会賞」は、創造性に富み優れた研究能力を有する若手研究者をいち早く顕彰し、研究の発展を支援することで、わが国の学術研究の水準を世界のトップレベルに発展させることが目的とされています。

受賞対象者は、人文学、社会科学および自然科学の全分野で、45歳未満の学術上特に優れた成果をあげている若手研究者です。

選考は、野依良治先生など各分野を代表するわが国トップレベルの研究者により構成される審査会で厳正に行われ、今回受賞者25人が決定されました。また日本学士院において、日本学術振興会賞の受賞者の中から6人以内が「日本学士院学術奨励賞」の受賞者として選ばれることになっています。今回、太田准教授はこの2つの賞を受賞することになりました。

授賞式は、2月24日（水）、日本学士院（東京都）で行われ、日本学術振興会賞および日本学士院奨励賞と同時に授与される予定です。

太田准教授の授賞の対象となった研究業績は、「近世近代インドネシア地域社会の全体史的研究：環境、国家、イスラーム、外来商人・移民、グローバル経済の影響」です。18世紀のバンテン王国（ジャワ島、スマトラ島）を主要な研究対象とし、現地語文書を含む膨大な資料の高い水準での調査と多様な視角からの分析を行い、近世・近代アジア史の理解を刷新して世界のグローバル・ヒストリー研究に大きく貢献し、さらなる研究の進展を期待することができるかとされています。

【お問い合わせ先】

広島大学 文学研究科支援室
TEL: 082-424-6604 FAX: 082-424-0315

太田 淳 (オオタ アツシ)

(OTA Atsushi)



生 年 1971年 出 身 地 福岡県

現 職 広島大学大学院文学研究科 准教授
(Associate Professor, Graduate School of Letters, Hiroshima University)

専 門 分 野 インドネシア史

略 歴 1993年 早稲田大学第一文学部卒
1996年 早稲田大学大学院文学研究科修士課程修了
2000年 日本学術振興会特別研究員-DC
2002年 早稲田大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学
2003年 日本学術振興会特別研究員-PD
2005年 博士(文学)の学位取得(ライデン大学)
2005年 ラトガース大学歴史学研究所客員研究員
2006年 シンガポール国立大学人文学部ポストドクトラル・フェロー
2008年 中央研究院人文社会科学研究中心助研究員
2012年 広島大学大学院文学研究科准教授(現在に至る)

授 賞 理 由

「近世近代インドネシア地域社会の全体史的研究:環境、国家、イスラーム、外来商人・移民、グローバル経済の影響」

(Total History of Indonesian Local Society in Early-Modern and Modern Ages: Impact of Environment, State, Islam, Outside Merchants, Migrants, and Global Economy)

太田淳氏は、「東南アジア諸地域は、15 世紀末に始まる大航海時代以降ヨーロッパ諸国が進出するなかで、政治・経済・社会などの諸側面において停滞していった」という通説を、多様な現地語文書を含む膨大な一次資料を総合的に分析することによって覆し、近世・近代アジア史の理解を刷新して世界のグローバル・ヒストリー研究に大きく貢献した。

本研究は、18 世紀におけるバンテン王国(ジャワ島、スマトラ島)を主要な研究対象とし、一見「衰退」に見えるこの時代の同王国について、自然環境、国家形態、イスラームの影響、外来商人や移民の役割、グローバル経済の受容のありかたなど、多様な視角から分析を加え、地域有力者層の勢力拡大や、中国市場を志向した民間貿易の広がりなど「地域社会のダイナミズム」が息吹いていたことを明らかにした。

太田氏は、歴史をグローバルかつ全体史的に把握しようとする近年の世界的な研究動向のなか、高い水準で資料の調査と分析を行い、バンテン王国の社会歴史構造を明晰に分析している。また、国際的にもすでに大きな貢献をしており、さらなる研究の進展を期待することができる。